

通所型サービス(短時間サービス)に係る内容変更

1. 目的

要支援認定後、必要なサービス利用につながらず状態の悪化を招くことが無いようサービス未利用者への選択肢を増やし、介護予防の促進を図るもの。

2. 現状

平成29年度より開始した総合事業の通所型サービスについては、事業開始当初から独自に2時間以上3時間未満の短時間サービスを設定していたが、利用者は毎年度2名から7名程度と少ない。特に男性が少ない状況である。

- (1) 短時間サービスの利用者等の推移
制度開始以来、利用者が少ない。

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
利用事業者	2	1	2	4	2	3	1
利用者	2	2	4	7	2	3	3
延べ利用者	7	14	31	21	12	10	13

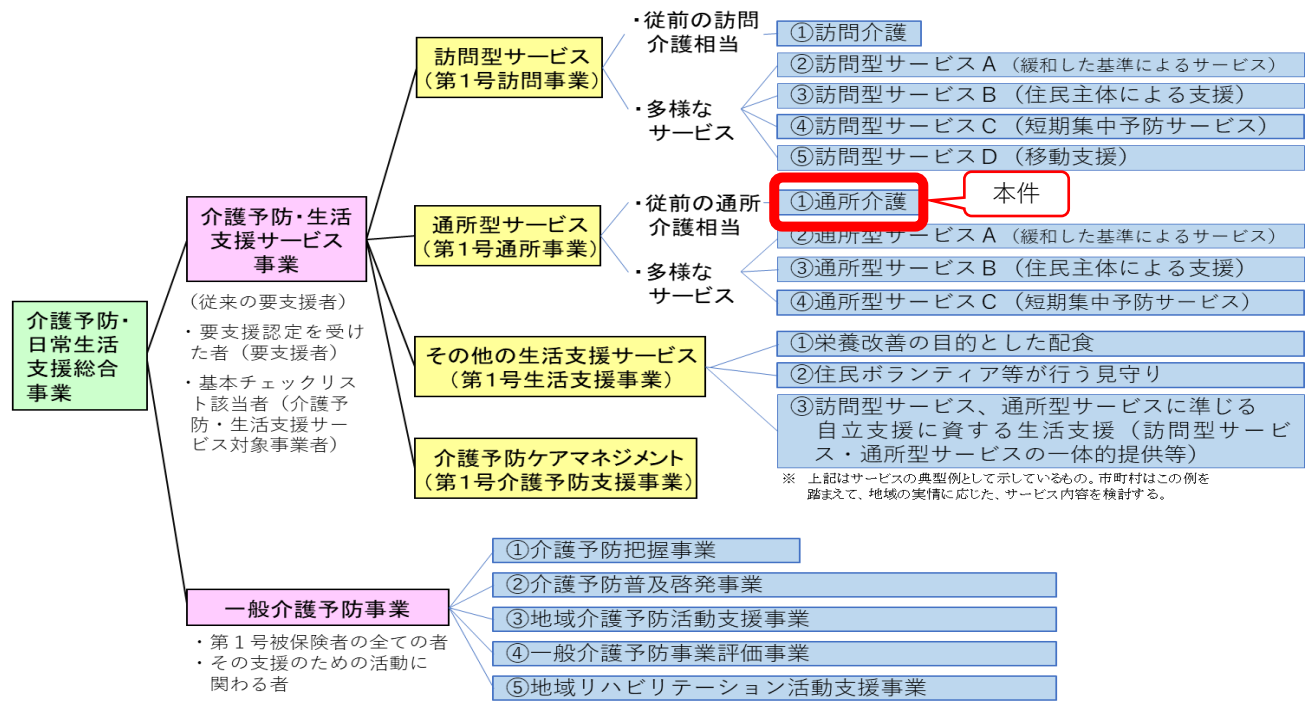
- (2) 通所型サービス利用者の男女比率（令和6年9月利用）

通所サービスまたは通所リハビリのサービス利用者は要支援認定者のうち約55%。未利用者のうち、リハビリに特化したサービスなら利用したい方がいると見込んでおります。（各包括支援センターへヒアリング）

		サービス利用者				認定者
		通所サービス	通リハ	小計	合計	
要支援1	男	82	49	131	554	351
	女	298	125	423		812
要支援2	男	98	64	162	717	306
	女	366	189	555		851

		サービス利用率				
		通所サービス	通リハ	小計	合計	
要支援 1	男	23.4%	14.0%	37.3%	47.6%	54.8%
	女	36.7%	15.4%	52.1%		
要支援 2	男	32.0%	20.9%	52.9%	62.0%	
	女	43.0%	22.2%	65.2%		

3. 介護予防・日常生活支援総合事業の構成



※ 上記はサービスの典型例として示しているもの。市町村はこの例を踏まえて、地域の実情に応じた、サービス内容を検討する。

4. 今回の改正点

介護予防・日常生活支援総合事業（以下「総合事業」という。）における「通所型サービス（短時間サービス）」について、現在「2時間以上3時間未満」と定義している短時間サービスを「1時間以上3時間未満」に変更するもの。

【現行制度】

指定相当通所型サービス 単位数・対象者		
サービス名称	単位数(A6)	対象者
通所サービス費(Ⅰ)	1月につき1,798単位	要支援1・要支援2 週1回程度の指定相当通所型サービスが必要とされた者
通所サービス費(Ⅱ)	1月につき3,621単位	要支援2 週2回程度の指定相当通所型サービスが必要とされた者
通所サービス費(Ⅲ) (短時間サービス)	1回につき 305単位 (月上限 1,259単位)	要支援1・要支援2 週1回程度の2時間以上3時間未満の指定相当通所型サービスが必要とされた者
通所サービス費(Ⅳ) (短時間サービス)	1回につき 313単位 (月上限 2,535単位)	要支援2 週2回程度の2時間以上3時間未満の指定相当通所型サービスが必要とされた者

【変更後】

通所サービス費(Ⅲ) (短時間サービス)	1回につき 305単位 (月上限 1,259単位)	要支援1・要支援2 週1回程度の1時間以上3時間未満の指定相当通所型サービスが必要とされた者
通所サービス費(Ⅳ) (短時間サービス)	1回につき 313単位 (月上限 2,535単位)	要支援2 週2回程度の1時間以上3時間未満の指定相当通所型サービスが必要とされた者

5. 今後の予定

○基準告示の改正（施行日：令和7年5月1日）